

Monthly News

No.167

令和5年度 近畿部会第167回例会

■テーマ **自治体史編纂と歴史資料の調査・活用**

■とき 令和6年(2024)1月27日(土曜日)
13時30分～16時40分

■場所 和泉市いずみの国歴史館 会議室

住所: 〒594-1152 和泉市まなび野2番4 (宮ノ上公園内 まなびのプラザ)

■和泉中央駅より、徒歩15分または南海バス(305 松尾寺ゆき・305C 美術館前ゆきでバス停「緑ヶ丘団地」下車徒歩5分)

■登壇者

報告1	森下 徹	氏 (和泉市教育委員会)
報告2	村上 純一	氏 (和泉市教育委員会)
コメントーター	柳沢 芙美子	氏 (福井県文書館)
司会	服部 光真	氏 (公益財団法人元興寺文化財研究所)

■定員 80名(下記のフォームより申し込み先着順 対面のみの開催です)

■参加費 無料

※ 参加には、事前のお申し込みが必要です(お申し込み方法は下記参照)。

■お申し込み方法

必ず以下の参加フォームよりお申し込みください。

<https://ws.formzu.net/dist/S81872802/>

■お申し込み締切

令和6年(2024)1月25日(木曜日)まで

■内 容

和泉市史編さん事業は、「地域における生活とその場の構築の努力やたたかいの歴史」こそ地域史の原理とならねばならないとする黒田俊雄氏の提言を踏まえた歴史的総合調査研究の実践として実施され、地域叙述編及びテーマ叙述編の刊行や、市民や大学との協働による調査などユニークな取り組みが行われてきている。これに先立つ1960年代の『和泉市史』編纂も、地域史研究の現代的意義に関する三浦圭一氏による重要な提言のもととなるなど、地域史研究・自治体史編纂に関する理論と実践の両面で和泉市は大きな成果を挙げてきた。この間、自治体史編纂に伴う調査を契機として重要史料の発見が相次いでいるのは偶然ではなく、こうした高度な問題意識に裏打ちされた成果であろう。近年では小中学生向けの読本が刊行され、また近く市史刊行が一区切りを迎えるにあたっては「文書館」機能の開設も具体化が図られている。

本例会では地域史研究の理論と実践の両面で重厚な成果を挙げてきた和泉市における自治体史編纂を振り返り、その過程で行われた歴史資料の調査と成果の公開に関する理念と方法を共有するとともに、次なる段階として歴史資料・歴史公文書の保存と公開に向けた課題を討議する。もって歴史資料や地域史研究の、現実の地域社会における意義を再確認したい。

■当日スケジュール

- ・ 13:00 開 場・受 付
- ・ 13:30 ~ 14:00 展 示（冬季特別展「文楽にみる葛の葉伝説」）解説
- ・ 14:10 ~ 14:15 趣旨説明
- ・ 14:15 ~ 14:55 報告① 和泉市史編さん事業の四半世紀 地域社会の変貌をみつめて
(森下徹氏)
- ・ 14:55 ~ 15:35 報告② 和泉市史編さん事業の〈これから〉を考える (村上絢一氏)
- ・ 15:35 ~ 15:45 休 憩
- 15:45 ~ 16:00 コメント (柳沢英美子氏)
- ・ 16:00 ~ 16:40 討 論
- ・ 16:40 閉 会

※例会終了後、懇親会を開催予定です。

■お問い合わせ先

全史料協近畿部会事務局 : 滋賀県立公文書館

MAIL: archives@pref.shiga.lg.jp 住所: 〒520-8577 滋賀県大津市京町四丁目1番1号

TEL: 077-528-3126 FAX: 077-528-4813